

## 【川柳大会】

優勝作は 『一服で 吹き飛んだ夢 甲子園』

第8回となる「球友川柳大会」（弊社主催）は、過去最高の4163作の応募のなかから厳正な予備選考を経て、16作が本大会へ進み見応えある攻防を繰り広げてくれました。

優勝作『一服で～』は、予選から危なげなく勝ち上がり、準決勝では、やや苦しんだものの、決勝は、本来の実力を発揮し、紫紺の大優勝旗を手に入れました。

また、準優勝作『トンネルや～』は、古豪の復活を印象づける元気さで大会を盛り上げてくれました。本大会の結果は以下のとおり。

優勝 『一服で 吹き飛んだ夢 甲子園』（神奈川・謹慎中）

準優勝 『トンネルや カーブもみごと 老球児』（愛媛・ハツラツ）

ベスト4

『増税で バットも少し 短めに』（大阪・主婦節子）

『甲子園 節電の夏 忘れたか』（福島・雷オヤジ）

## ベスト 8

『伸ばす手が 届かぬベース あと五ミリ』（佐賀・スクイズ）

『履歴書に 「野球部卒」と 書く気合い』（兵庫・就職内定）

『名月は 地球をまわる ホームラン』（岐阜・ポエム）

『ひと夏の 清涼剤か 俺たちは』（東京・副主将）

## ベスト 16

『やれ打つな チアが手をふる 足をふる』（長野・小林三茶）

『かっ飛ばす つもりで三度 空を切り』（鳥取・打点王）

『ありのままの息子が試合をしている』（山口・ニートの母）

『ノッカーに バットで道を 教えられ』（北海道・旅人）

『凡退の 言い訳めいた すべりこみ』（宮崎・あるある）

『甲子園 神も魔物も 棲むという』（高知・解説者）

『先生が 宣誓をして 先制打』（新潟・だれじゃ）

『咳をしても練習』（ギリシャ・熱血）

次回も多数のご応募をお待ちしております。

（文責・柳川）